

ふじしょうだより

～ひびき合い
ともによりよく生きる～



学校 HP

令和5年4月28日

5月号

横浜市立藤が丘小学校

「よりよい姿を」

校長 齋藤千枝

朝は、自分か副校長が登校の様子を主な通学路を中心に回っています。子どもたちが元気よく「おはようございます。」と地域の方や私たちとあいさつを交わしながら登校している姿に、私も元気をたくさんもらっています。

そんな子どもたちが安心して登下校できるよう、日々、見守っていただいている地域の方、保護者の方に厚くお礼を申し上げます。

ある日、1年生が登校中、道に迷った子がいたようで、近くにいた上の学年の子と一緒に付き添ってくれたという話を聞きました。その地域の方は、その姿にとっても感心されていました。私も思い浮かべるだけで、ほほえましく、温かく、そしてその子が、この経験をもとにきっと少したくましく成長したのだろうなど、うれしく思いました。

そしてその1年生も自分が上の学年になったとき「あのときは・・・」と思い出し、今度は自分が1年生に優しくできるようになっていくのだと思います。

こんな風に「よりよい姿」は、日常の中でも生まれ、一人ひとりが少しずつ成長していくことで、お互いのよさがひびき合っていくのではないのでしょうか。学習の中で、地域の中で、家庭の中で「よりよい姿」の積み重ねが「ひびき合い ともに よりよく生きる」という本校の教育目標に向かっているのではないかと思います。

5月。眩しい日差しの中で、子どもたちは新しい教室にも慣れ、クラスの友達ともどんどん仲よくなってくる頃です。学習にもさらにいろいろなことに興味や関心、探求心をもち始めます。

「もっと知りたいな！」

「こうすると、もっとよくなるのでは？」

「どうして、こうなるのだろう？」

「先生！次はこれをやりたいです！」

子どもたちは、眼をきらきらとさせ、様々な経験をしたり、観察したり、話し合ったりしていきながら、どんどん学習がおもしろくなっていくと思います。

学校生活の中で、学びの中で、友達同士のよさを感じ、ひびき合いながら、よりよい子どもたちの姿を目指し、取り組んでいきたいと思っています。